



CONCORA MEDIUM FLUTER

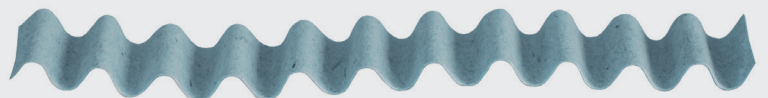
CMT-、CCT-テスト用の波形サンプルの準備用装置



MODELS

- コンコラMフルーター・波形タイプA
- コンコラMフルーター・変更可能なセグメント仕様

オプション：GOST標準の2番目のサンプルスロット（幅15MM）



重要な長所

- ✓ 温度デジタル表示
- ✓ フルーティングセグメントの高速加熱（約15分）
- ✓ エネルギー最適化：わずか450Wの消費電力
- ✓ 低放出熱、気候実験室での操作が可能

装置について

コンコラミディアムフルーターは、メインケースとフルーターケースで構成されています。モーターとコントロールはメインケースに装着されています。フルーターの安全カバー背部には、ギア付きエレメントと加熱エレメントがあります。その上部には、サンプルを挿入するためのスロットがあります。メインケースに取り付けられたサーモスタットは、フルーターセグメントの温度を調整して表示します。標準ユニットには、Aフルート用の統合ギアセグメントが付属しています。他の種類のフルートについては、交換可能なフルートセグメントを備えたコンコラミディアムフルーターが利用可能です。対応する「サードハンド」およびタンピングブロックは、以前に作成されたフルートを接着して取り付けるために使用されます。

試験方法

152.4 x 12.7 mmのテストストリップをストリップパンチ（9ページを参照）で作成し、動作温度まで予熱されたフルーターにつながるサンプルスロットに供給します。スタートボタンを押すと、ギアセグメントがストリップを機械に通し、設定された力と設定温度で押し、ストリップに溝を作ります。フルートの作成後、オペレーターが取り外せるようコンパートメントに移送されます。これを、CCTテストに使用したり、「サードハンド」を使用してCMTテストの準備ができます。このプロセスでは、フルートがフルートブロックに装着され、サードハンドが閉じられます。次に、標準の粘着テープをフルートに貼り付け、タンピングブロックを使用してしっかりと取り付けます。この時点で、フルートブロックが横に押され、テープが剥がされます。



サンプルを簡単に挿入できるスロット

テクニカルデータ

デバイス/機器

- 温度のデジタル表示
- 200°Cまでの温度調節可能
- フルーティングセグメントの高速加熱
- セグメントの速度：4.5 rpm
- 接触圧力：100 N
- セグメントタイプA
- 「サードハンド」とタンピングブロック

インストール要件

電源	100 – 230 VAC / 50 – 60 Hz
水供給（恒温推奨）	不要
圧縮空気	不要

適合標準規格

- DIN EN ISO 7263_2011
- TAPPI T809



フルートは「サードハンド」に装着され、クランプされます



フルートに粘着テープを貼付